

第7回 分倍河原駅周辺まちづくり協議会 全体会 議事録

1 日 時：平成30年9月13日（木）午後7時～8時20分

2 場 所：片町文化センター3階第1会議室

3 出席者：都市整備部地区整備課 職員5名

分倍河原共栄会 6名

片町二丁目自治会 3名

片町3丁目自治会 1名

美好町3丁目自治会 2名

分梅第一自治会 1名

分梅高倉自治会 1名

(株)ジオ・アカマツ 1名

(株)首都圏総合計画研究所（コンサルタント） 2名

4 資 料：次第

資料1 まちづくり提案書（案）に関する修正点

分倍河原駅周辺地区まちづくり提案書（案）

分倍河原周辺地区まちづくり協議会全体会議事録

5 内 容

(1) まちづくり提案書（案）について

（○：出席者からの質問等、⇒：意見への回答等、◎決定事項）

・資料1についてコンサルタントより説明があった。

○29ページ④の「可能なタイミング」という表現では、全て任せっきりというように読めてしまうので、「適切なタイミング」という表現にしていきたい。（美好町3丁目自治会）

○まちづくり提案するにあたって、いつ頃までに市からたたき台を出してほしいといったようなタイムテーブルは載せないのか。（分梅第一自治会）

⇒交通戦略の中に、市としていつまでに整備を行うというスケジュールが出ているが、まちづくり提案書には書いていない。（コンサルタント）

○提案書にスケジュールを載せた方が、意見として強くなると思う。（分梅第一自治会）

⇒市で考えている実施プログラムは、交通戦略に書かれているとおりである。（市）

○市の出しているスケジュールと連動して事業の推進を要望します、といった文言があると良いのではないか。（美好町3丁目自治会）

◎29ページの③にそのような文言を追加する。（コンサルタント）

○駅舎改良と並行して事業を進めるのであれば、より具体的なスケジュールを載せた方が良いのではないか。（片町二丁目自治会）

⇒市としては、駅舎の改良について鉄道事業者と協議してだけでなく、その他にもさ

さまざまな施策を推進していく予定である。施策によっては、早い時期に実施するものもあれば、長期的に実施していくものもあるので、「交通戦略に示された実施スケジュールに基づいて」という文言がスマートだと思う。(市)

○協議会としてまちづくり提案書を提出し、その後市として実際に事業を進める際には、提案書の内容を取捨選択すると思うが、その内容は協議会に分かる形になるのか。(分梅第一自治会)

⇒実際に事業を行う際には、協議会の皆さまと意見交換をしながら進めていく。(市)

○まちづくり提案書を提出した後、市が事業をどのくらいのスケジュールで検討していくのかがわかった方がと良いと思う。(分梅第一自治会)

○先日測量が行われたということで、駅舎の改良の第1歩が進んだと思っている。次のステップの予算化はどのようになっているのか。(分倍河原共栄会)

⇒測量は、駅舎の改良と自由通路の検討のために行った。今年度中に事業性の検討に着手する予定である。(市)

○住民の協力のもと、市によって駅周辺の測量調査が行われたことは、大事なことであり、これが出発点になる。事業が始まるということ踏まえたまちづくり提案書になっていると思うので、今後のまちづくりに生かされるべきである。(分倍河原共栄会)

⇒まちづくり提案書をうけて、全く事業をやらないということはないが、一度に全ての事業を行うことは予算的にも厳しいため、優先順位をつけて取り組んでいくことになる。皆さんから強い要望をいただいている駅舎改良とそれに関連する駅周辺の整備は、特に力を入れて取り組んでいきたいと考えている。(市)

○ただお願いしますというものではなく、もう少し我々の思いをまちづくり提案書に込められると良いと思う。(分梅第一自治会)

○前回の提案書では、お金のことはあまり考えず、理想論を提案したように感じる。提案されたことをいつやるのか、ということが住民の方が一番思うことだと思う。(分倍河原共栄会)

○市から事業の報告を受ける住民の窓口があると良いのではないかと。連絡できる体制があると良い。(分梅第一自治会)

○各自治会の了承を得ればできると思う。分倍河原らしい体制づくりができれば良い。(分倍河原共栄会)

⇒今後の協議会の存続にも関わることなので、提案書に載せるのではなく、別の議題として時間をとって議論した方が良いと思う。(コンサルタント)

○これまでも、協議会から市に対してまちづくりの提案をしてきたが、特に大きな改良は実行されなかった。今後、このまちづくりを実行するのはどこなのか。(分倍河原共栄会)

⇒事業の種類にもよるが、基本的に交通戦略に基づき事業を進めていくのは、地区整備課である。(市)

○都市計画マスタープランの意見交換会が計画課の主導で9月1日に行われたそうであるが、どのようなことを議論したのか。(分倍河原共栄会)

⇒9月1日は、都市計画マスタープランという市全域の将来像や方向性を決める計画につ

いての意見交換会で、市内を8つの地域に分けて、各地域でまちの魅力や課題について話し合った。分倍河原駅周辺は、西府地域と一緒に第6地域に属している。(コンサルタント)

⇒都市計画マスタープランは市全域のまちづくりの方向性を示すものであり、現在計画課で改定作業を進めているところである。地区整備課は、自由通路や駅前広場の整備などの分倍河原駅周辺の事業を行う部署になる。(市)

⇒分倍河原駅周辺は、府中駅や府中本町駅周辺の中心拠点に次ぐ地域拠点という位置付けになっている。都市計画マスタープランにおいて、少子高齢化などの社会状況を踏まえた地域の拠点機能を向上させるという位置付けについて、意見交換会で地元の代表の方に議論していただいている。(コンサルタント)

○提案書そのものに対する意見が少なくなってきたが、本日の議論を踏まえて修正したものを最終案として良いか。(美好町3丁目自治会)

⇒異議なし。(会員)

○まちづくり提案書は市のどこに提出するのか。(分梅第一自治会)

⇒次回の協議会で最終決定となり、その後日を改めて、会長、副会長から都市整備部長に提出していただきたいと考えている。(市)

○市長に提出しないのか。(片町二丁目自治会)

○平成8年の際は市長に提出している。(片町二丁目自治会)

⇒提出先については、協議会の意向も考慮するが、今回のようなケースでは、部長に提出していただくことが多い。(市)

○協議会のまとめた提案書は、このままの形で受理してくれるのか。我々の思いがきちんと市長に伝わってほしい。(片町二丁目自治会)

⇒まちづくり提案書の内容について、市が勝手に文章を直すということはない。(市)

(2) その他

(○：出席者からの質問等、⇒：意見への回答等、◎決定事項)

⇒今回修正することになった部分を修正した最終案を、各自治会の代表者にお渡しするので、次回協議会までに各自治会で確認していただきたい。最終案は、来週中にはお渡しできるようにする。片町三和会は市から直接お渡しする。(市)

◎次回全体会の日程は、10月30日(火)とする。

○今後の協議会のあり方については、どのように調整するのか。(美好町3丁目自治会)

○今後、協議会を存続する場合はコンサルタントに出席してほしいが、そのためには市の予算が必要である。(分倍河原共栄会)

○まちづくり提案書を提出した後の取組は、市から説明していただくことになると思う。(美好町3丁目自治会)

○測量の際トラブルはあったか。(分倍河原共栄会)

⇒民地に立ち入る必要があるケースにおいても、皆さまにご協力いただき、特にトラブルはなく作業させていただけた。

- 市としては、協議会は続けていきたいと思っている。予算は確実なことは言えないが、皆さまへの情報提供や意見交換の場として協議会は続けていきたい。（市）
- ⇒現在は協議会の運営支援として市から委託を受けているが、まちづくり相談員として、協議会から我々を雇ってもらうことも考えられる。（コンサルタント）
- 次回の協議会の中で、コンサルタントの継続的支援について議論できれば良いと思う。（分梅第一自治会）
- 来年度の予算はいつ頃決まるのか。（美好町3丁目自治会）
- ⇒3月議会で議決されれば決定となる。（市）
- 都市・地域交通戦略の元年はいつか。（分倍河原共栄会）
- ⇒今年度（平成30年度）である。（市）

以上